

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2019年9月18日

東京都作業部会確認年月日 2019年9月20日

事業名 民間警備会社による施設警備

案件名 警備JVとの個別契約の締結について

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		経費負担の基本的な考え方は、平成29年5月31日の合意の主旨をふまえ、各者の役割を整理したものである。	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		大会が近づくにつれ警備員の需給がひっ迫している中、効率運用の観点から組織委員会が一体的な運用を目指し、一元的に執行することが最も効率的かつ効果的である。	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	本事業は、大会における競技会場等の警備を実施するものであり、安全・安心な大会実現のために必要不可欠である。	
	効率性	実証実験等をふまえ、競技会場の警備基本計画を策定し、警備配置の考え方として妥当な人員配置であり、効率的かつ効果的である。	
	納得性	警備員の需給がひっ迫している中、警備JVと警備業務委託契約を早期に締結することで、大会に向けた要員の確保を確実なものとする。	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		安全・安心な大会実現のため、競技会場周辺のセキュリティも含めた統合的な運用が必要不可欠であり、公費負担の対象として適切である。 また、本件に係る経費が大会の全体経費を超過しないこととし、一層の経費削減に努める。	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。